

3 データ分析の結果に基づく健康課題

3.1 被保険者の特性

被保険者の
特性

- 男性、女性とも年々被保険者数は減少している。
- 性別、年齢階層別の被保険者数は、65～74歳の割合が高い。

▶ 被保険者の推移

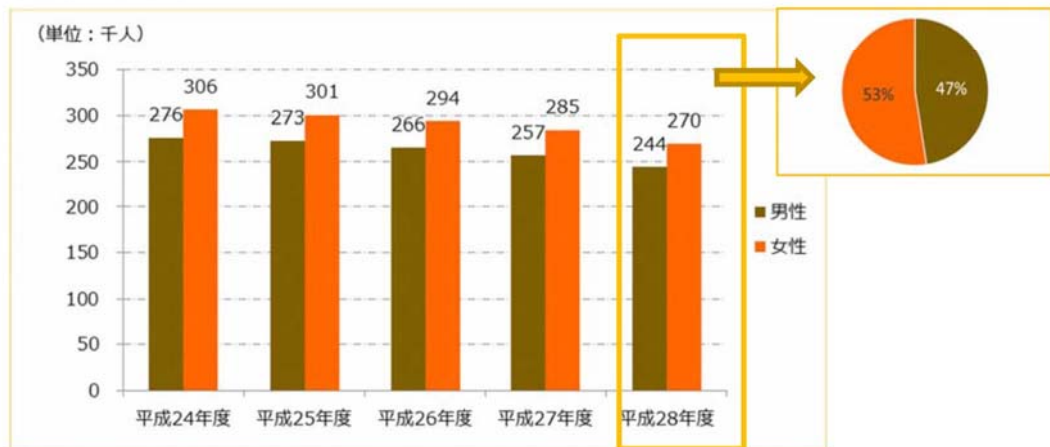


図 3-1 被保険者の推移 (平成24～28年度) ※KDBデータ (平成29年5月処理) ⁶

▶ 被保険者の構成

平成28年度の被保険者数は、514,496人 (男性244,477人、女性270,019人) である。



図 3-2 被保険者の構成 (平成28年度) ※KDBデータ (平成29年5月処理)

⁶KDB データ (平成 29 年 5 月処理) を使用しているため、公表値とは異なります。

3.2 医療費データの分析

3.2.1 医療費全体の概況

医療費全体の概況

- 総医療費は、平成 27 年度までは増加、平成 28 年度に減少している。
- 被保険者 1 人当たり医療費は、入院において年々増加している。外来は、平成 27 年度までは増加、平成 28 年度に減少している。
- 受診率（被保険者 1,000 人当たりのレセプト件数）は、入院において平成 26 年度以外は増加している。外来は、平成 27 年度までは増加、平成 28 年度に減少している。
- 他の政令指定都市と比較すると、被保険者 1 人当たり医療費は、入院・調剤が低く、外来・歯科は同様の傾向を示している。

▶ 総医療費

表 3-1 総医療費の推移（平成24～28年度） ※KDBデータ

（単位：千円）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入院	55,021,388	55,889,099	55,369,521	55,461,527	54,608,041
外来	91,738,973	94,682,790	95,195,399	98,394,030	92,725,382
歯科	5,973,741	7,534,432	11,476,920	13,708,397	13,358,290
計	152,734,102	158,106,321	162,041,840	167,563,954	160,691,713

【データ】 KDBデータ

※1 歯科データの取り扱い：集計元である国保データベース（KDB）システムは電子レセプトのみを集計対象としている（以降同様）。歯科レセプトについては、電子レセプト請求普及状況（平成24年4月：46.4%→平成27年4月：96.0%）が影響していることから（表 3-2）、参考として掲載する（以降同様）。

表 3-2 【参考】電子レセプト請求普及状況（レセプト件数ベース） 厚生労働省「電子レセプト請求の電子化普及状況等（平成27年4月診療分）について」を基に作成

（単位：%）

	平成 24 年度 4 月請求	平成 25 年度 4 月請求	平成 26 年度 4 月請求	平成 27 年度 4 月請求
医科（病院）	99.9	99.9	99.9	99.9
医科（診療所）	93.0	94.4	95.9	97.9
歯科	46.4	55.7	69.5	96.0

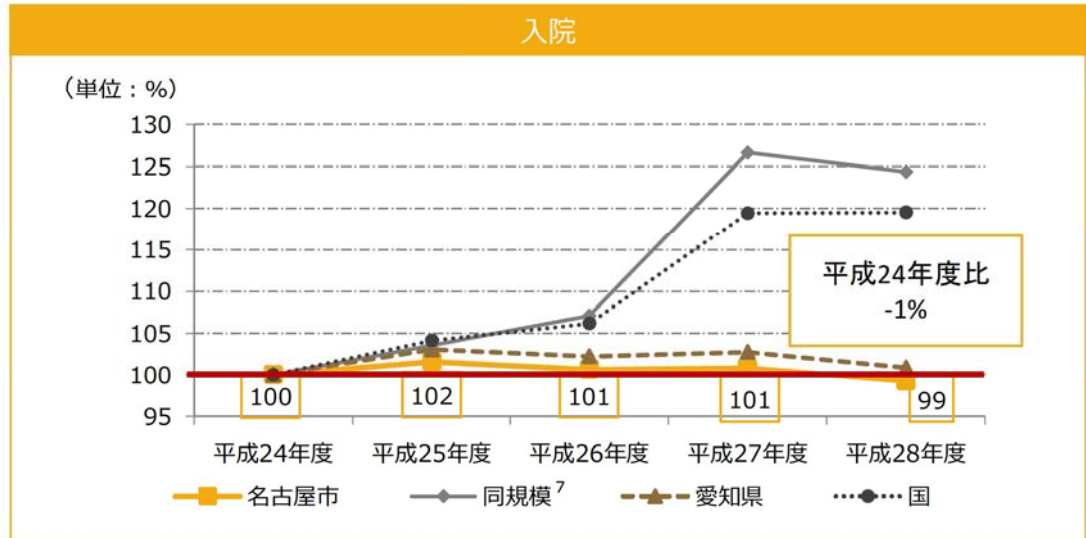


図 3-3 平成24年度を100とした総医療費の推移（入院）（平成24～28年度）※KDBデータ



図 3-4 平成24年度を100とした総医療費の推移（外来）（平成24～28年度）※KDBデータ

⁷ 「同規模」とは、同規模保険者のことで、政令指定都市（20市）にて構成し、数値は平均値を示しています。

▶ 1人当たり医療費（月平均）

表 3-3 1人当たり医療費の推移（平成24～28年度）※KDBデータ

（単位：円）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入院	7,860	8,050	8,140	8,390	8,600
外来	13,100	13,640	14,000	14,880	14,600
歯科	850	1,090	1,690	2,070	2,100



図 3-5 平成24年度を100とした1人当たり医療費の推移（入院）（平成24～28年度）※KDBデータ

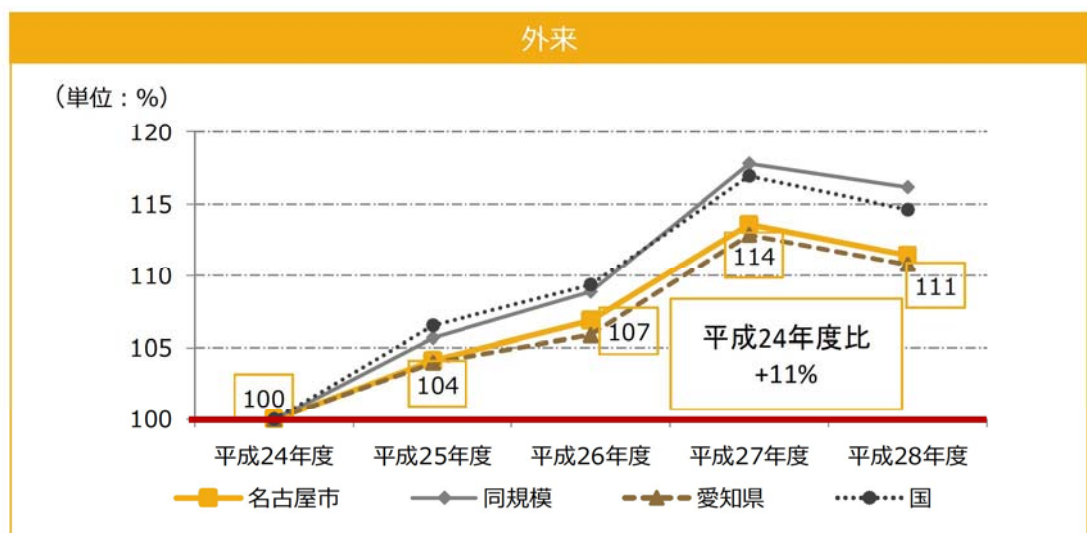


図 3-6 平成24年度を100とした1人当たり医療費の推移（外来）（平成24～28年度）※KDBデータ

▶ 受診率（被保険者1,000人当たりのレセプト件数）（月平均）

表 3-4 受診率（被保険者1,000人当たりのレセプト件数）の推移（平成24～28年度）※KDBデータ

（単位：件）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入院	15.4	15.6	15.4	15.7	15.8
外来	669.1	679.3	689.8	705.9	704.1
歯科	69.9	89.4	138.0	170.1	171.7



図 3-7 平成24年度を100とした受診率の推移（入院）（平成24～28年度）※KDBデータ

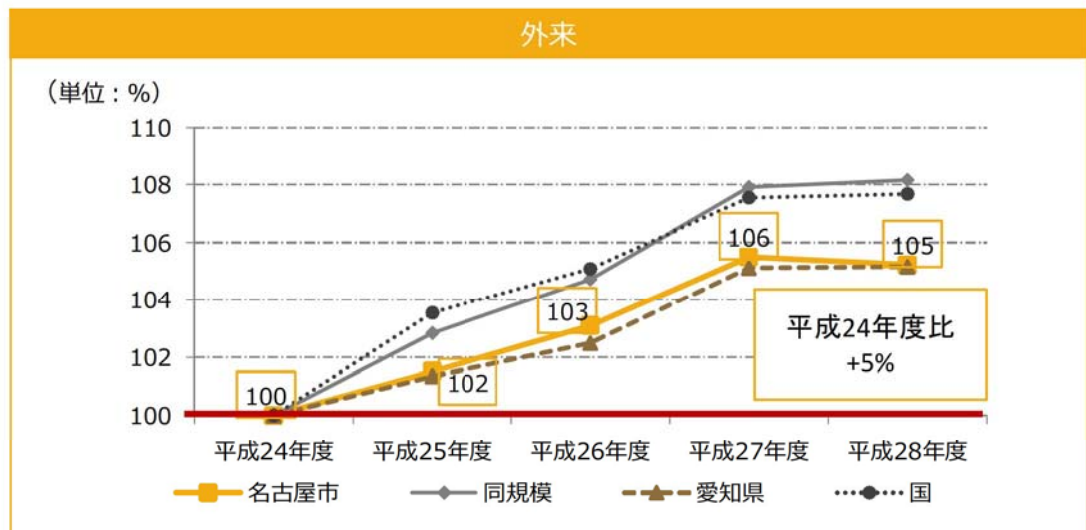


図 3-8 平成24年度を100とした受診率の推移（外来）（平成24～28年度）※KDBデータ

▶ 1件当たり日数

表 3-5 1件当たり日数の推移（平成24～28年度）※KDBデータ

（単位：日）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入院	14.7	14.5	14.2	14.1	14.1
外来	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6
歯科	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8

▶ 1日当たり費用額

表 3-6 1日当たり費用額の推移（平成24～28年度）※KDBデータ

（単位：円）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入院	34,790	35,730	37,030	37,890	38,490
外来	11,500	11,970	12,270	12,950	12,960
歯科	6,520	6,570	6,730	6,820	6,960

▶ 政令指定都市別被保険者1人当たり医療費（入院）

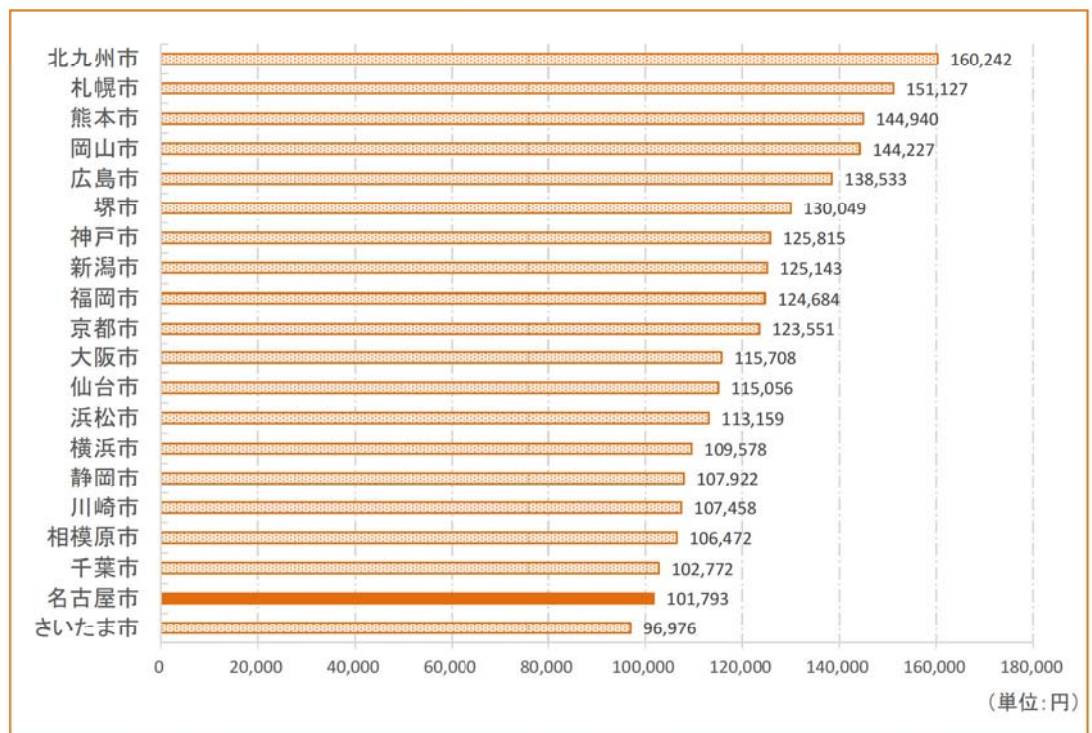


図 3-9 政令指定都市別被保険者1人当たり医療費（入院）（平成27年度）※国民健康保険事業年報

▶ 政令指定都市別被保険者1人当たり医療費（外来）

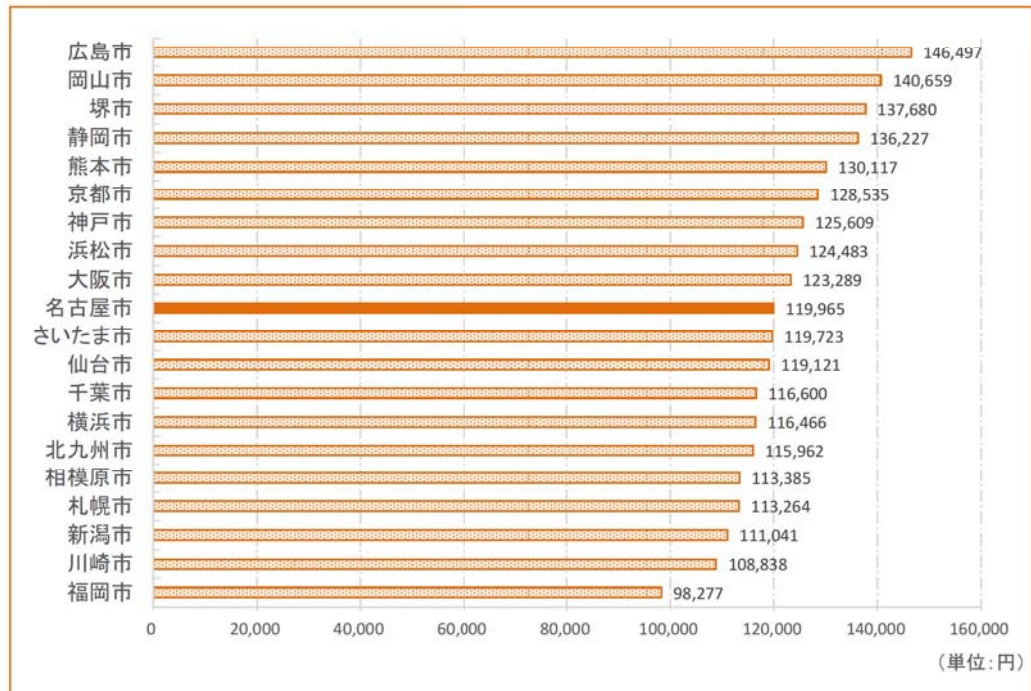


図 3-10 政令指定都市別被保険者1人当たり医療費（外来）（平成27年度）※国民健康保険事業年報

▶ 政令指定都市別被保険者1人当たり医療費（歯科）

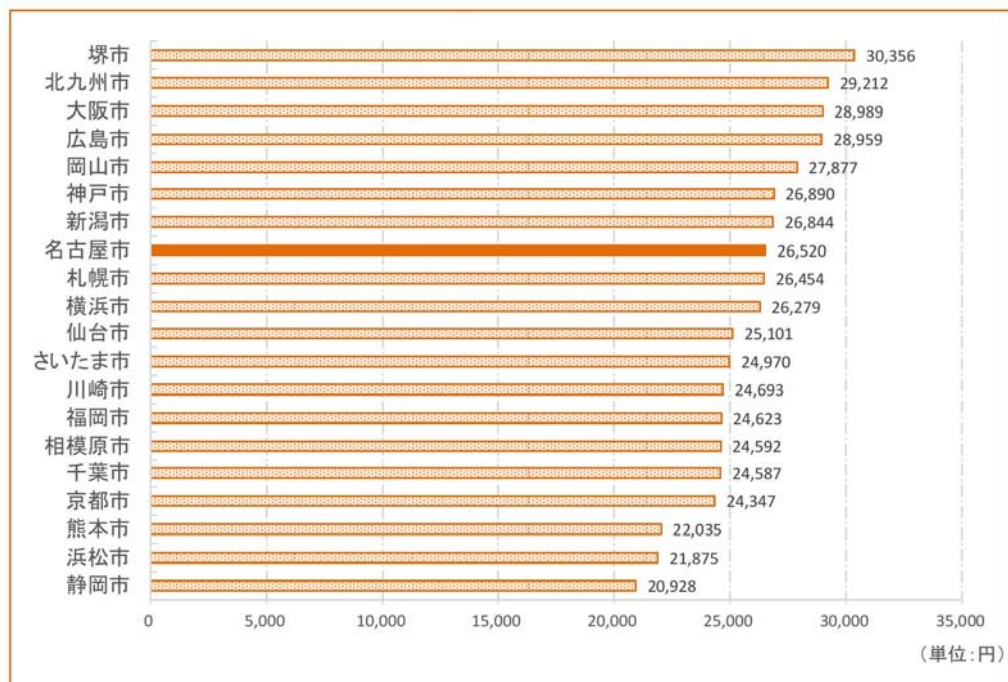


図 3-11 政令指定都市別被保険者1人当たり医療費（歯科）（平成27年度）※国民健康保険事業年報

▶ 政令指定都市別被保険者1人当たり医療費（調剤）

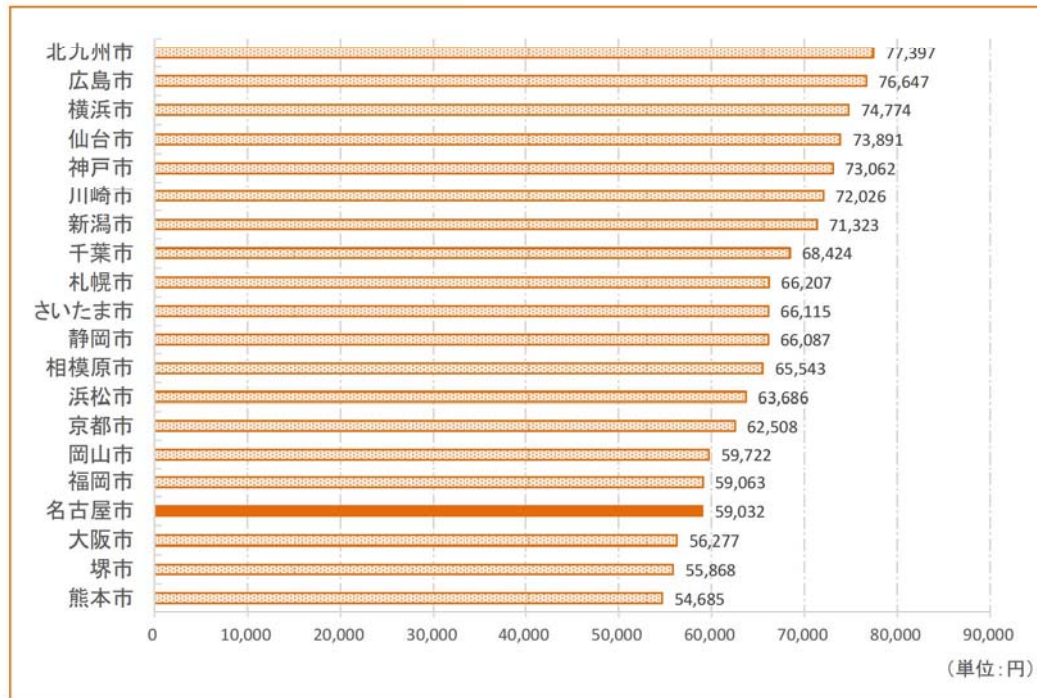


図 3-12 政令指定都市別被保険者1人当たり医療費（調剤）（平成27年度）※国民健康保険事業年報

■ 3.2.2 年齢階層別医療費（被保険者1人当たり医療費）の状況

年齢階層別 医療費 の状況

- 被保険者1人当たり医療費を性別、年齢階層別にみると、男女ともに高齢になるほど増加傾向である。（65歳～69歳が他の年齢階層と比較し低いが、母数となる被保険者数が多いことが原因と思われる。）
- 男性において、60～64、70～74歳の伸びが顕著である。また、50代以降は男性と女性で医療費の差が大きくなっている。

▶ 性別・年齢階層別の1人当たり医療費

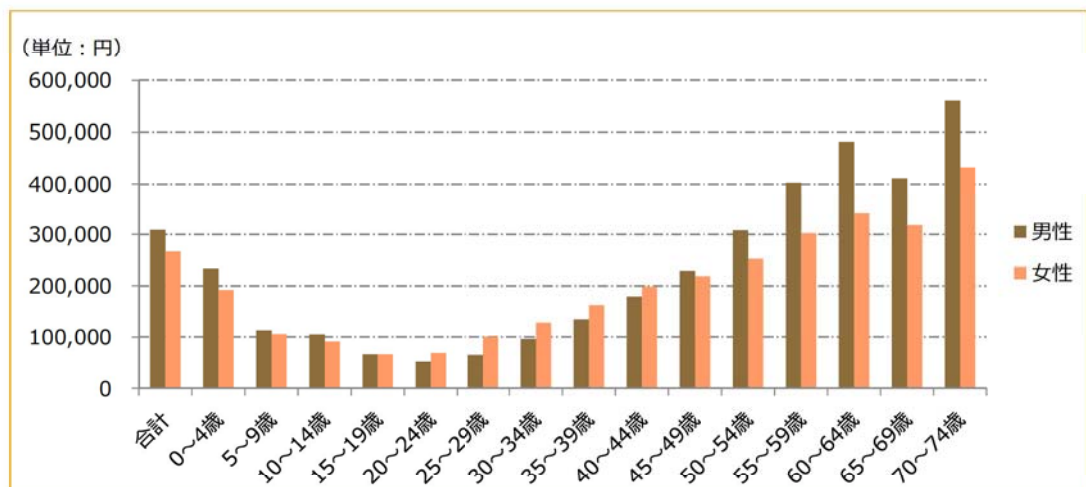


図 3-13 年齢階層別医療費（被保険者1人当たり医療費）（平成28年度）※KDBデータ

3.3 疾病別医療費の状況

疾病別 医療費の 状況

- 疾病中分類⁸別に医療費を見ると、総医療費、レセプト1件当たり医療費、レセプト件数で上位となる疾患のうち、生活習慣病に起因する疾病（悪性新生物を除く）は、腎不全、糖尿病、脳内出血、高血圧性疾患である。
- 年齢階層別で見ると、腎不全、糖尿病、高血圧性疾患は年齢階層が高くなるほど上位となっている。

▶ 全体（男性・女性）

表 3-7 疾病別医療費の状況（平成28年度） ※KDBデータ

項目		疾病中分類		
		1 位	2 位	3 位
総医療費	名古屋市	糖尿病	その他の悪性新生物	高血圧性疾患
	同規模	腎不全	糖尿病	その他の悪性新生物
	愛知県	糖尿病	その他の悪性新生物	高血圧性疾患
	国	腎不全	糖尿病	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
レセプト1件当たり医療費	名古屋市	白血病	くも膜下出血	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
	同規模	白血病	くも膜下出血	脳内出血
	愛知県	白血病	くも膜下出血	脳内出血
	国	重症急性呼吸器症候群	くも膜下出血	白血病
レセプト件数	名古屋市	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病
	同規模	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病
	愛知県	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病
	国	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病

⁸ 疾病中分類：P75 資料「疾病中分類 分類表」参照

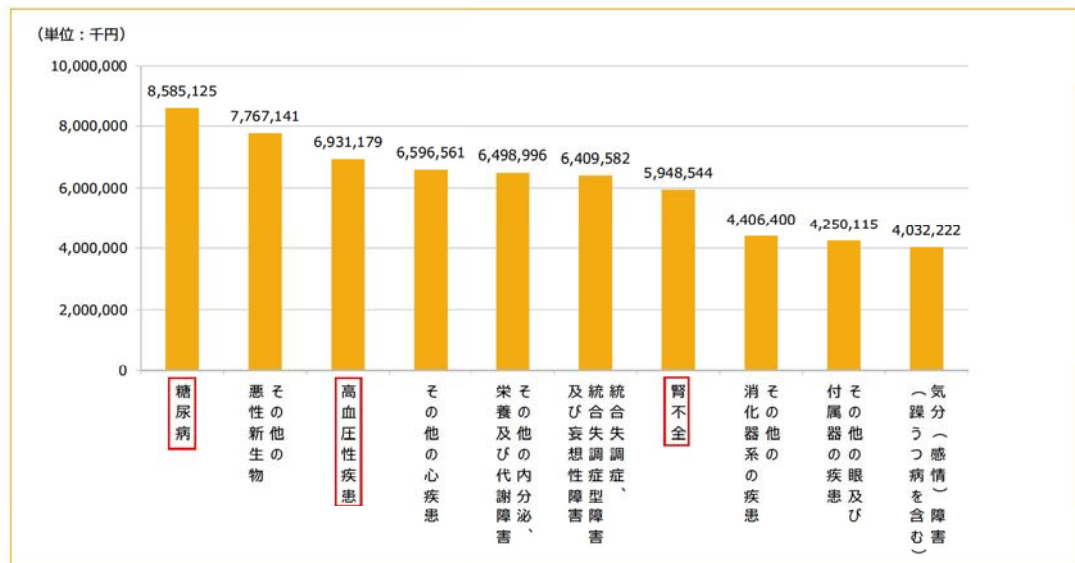


図 3-14 疾病中分類別総医療費（上位10疾病）（平成28年度）※KDBデータ

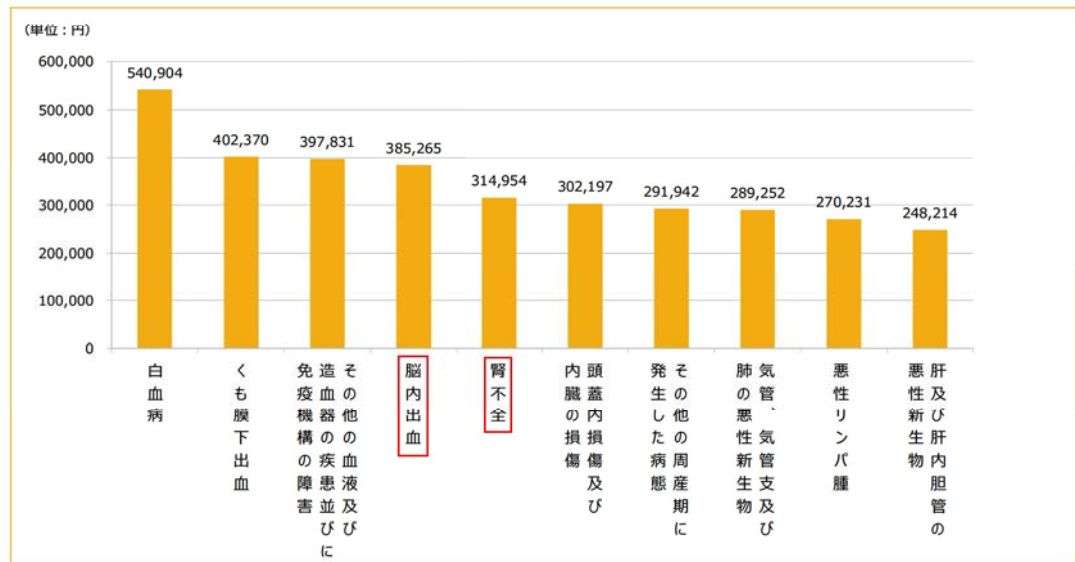


図 3-15 疾病中分類別レセプト1件当たり医療費（上位10疾病）（平成28年度）※KDBデータ

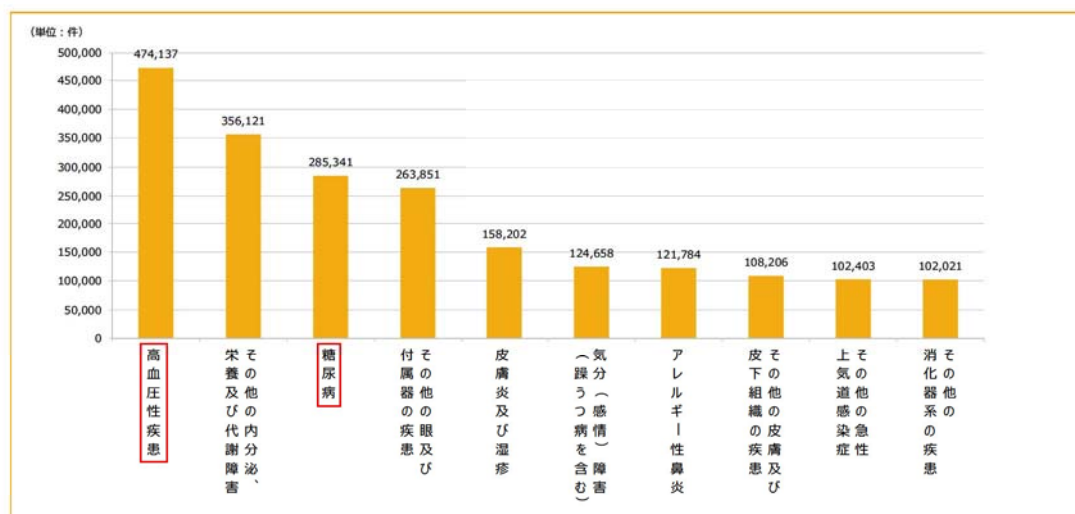


図 3-16 疾病中分類別レセプト件数（上位10疾病）（平成28年度）※KDBデータ

▶ 男性

表 3-8 男性・年齢階層疾病別医療費の状況（平成28年度） ※KDBデータ

項目	年齢階層 (歳)	疾病中分類		
		1 位	2 位	3 位
総医療費	0-9	喘息	その他 ⁹	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	10-19	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	その他損傷及びその他外因の影響	アレルギー性鼻炎
	20-29	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	その他の呼吸器系の疾患	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	30-39	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	腎不全
	40-49	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	腎不全	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	50-59	腎不全	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	糖尿病
	60-69	その他の悪性新生物	糖尿病	その他の心疾患
	70-74	その他の悪性新生物	糖尿病	その他の心疾患
レセプト1 件当たり 医療費	0-9	白血病	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	その他の悪性新生物
	10-19	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	その他の悪性新生物	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
	20-29	その他の脳血管疾患	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	脳内出血
	30-39	白血病	くも膜下出血	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
	40-49	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	白血病	その他のウイルス疾患
	50-59	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	白血病	心臓の先天奇形
	60-69	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	白血病	脳内出血
	70-74	心臓の先天奇形	脳内出血	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
レセプト 件数	0-9	その他	皮膚炎及び湿疹	喘息
	10-19	アレルギー性鼻炎	皮膚炎及び湿疹	その他
	20-29	皮膚炎及び湿疹	屈折及び調節の障害	その他
	30-39	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	皮膚炎及び湿疹	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	40-49	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	糖尿病
	50-59	高血圧性疾患	糖尿病	その他の内分泌、栄養及び代謝障害
	60-69	高血圧性疾患	糖尿病	その他の内分泌、栄養及び代謝障害
	70-74	高血圧性疾患	糖尿病	その他の内分泌、栄養及び代謝障害

⁹ その他：疾病中分類に分類されない疾病

▶ 女性

表 3-9 女性・年齢階層疾病別医療費の状況（平成28年度） ※KDBデータ

項目	年齢階層 (歳)	疾病中分類		
		1 位	2 位	3 位
総医療費	0-9	喘息	その他	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	10-19	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	アレルギー性鼻炎	その他損傷及びその他外因の影響
	20-29	その他の妊娠、分娩及び産じょく	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	30-39	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	その他の妊娠、分娩及び産じょく
	40-49	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	良性新生物及びその他の新生物
	50-59	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	腎不全	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	60-69	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病	高血圧性疾患
	70-74	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病
レセプト1 件当たり 医療費	0-9	脾疾患	白血病	高血圧性疾患
	10-19	肝及び肝内胆管の悪性新生物	その他の脳血管疾患	腎不全
	20-29	脳内出血	白血病	くも膜下出血
	30-39	白血病	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳内出血
	40-49	白血病	悪性リンパ腫	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
	50-59	白血病	くも膜下出血	腎不全
	60-69	白血病	くも膜下出血	腎不全
	70-74	くも膜下出血	脳内出血	白血病
レセプト 件数	0-9	その他	その他の急性上気道感染症	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	10-19	屈折及び調節の障害	皮膚炎及び湿疹	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
	20-29	皮膚炎及び湿疹	その他	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
	30-39	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	皮膚炎及び湿疹	その他
	40-49	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	その他	皮膚炎及び湿疹
	50-59	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	60-69	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	その他の眼及び付属器の疾患
	70-74	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	その他の眼及び付属器の疾患

3.3.1 高額医療費の状況

高額医療費 の状況

- 高額医療受療者（レセプト1件が50万円以上）は、入院 19,771 人、外来 2,786 人である。
- 入院における総医療費順で上位となる主傷病は、その他の悪性新生物、その他の心疾患、虚血性心疾患である。また、腎不全が9位となっている。
- 外来における総医療費順で上位となる主傷病は、ウイルス肝炎、その他の悪性新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物である。また、腎不全が4位となっている。

▶ 高額医療受療者（レセプト1件が50万円以上）総医療費順（入院）

表 3-10 高額医療受療者が患っている主傷病：医療費順（入院）（平成28年度） ※KDBデータ

総医療費 順	主傷病名	年間総医療費 (円)	レセプト件数 (件)	受診者数 (人)
1	その他の悪性新生物	3,690,440,310	3,351	2,161
2	その他の心疾患	3,051,242,420	1,819	1,441
3	虚血性心疾患	1,989,980,100	1,267	1,082
4	その他の呼吸器系の疾患	1,530,059,770	1,653	982
5	脳梗塞	1,437,630,460	1,571	807
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物	1,301,681,260	1,154	735
7	骨折	1,236,582,710	1,294	941
8	その他の消化器系の疾患	1,094,878,300	1,321	1,122
9	腎不全	1,016,870,690	953	452
10	その他の循環器系の疾患	1,011,429,350	462	394

▶ 高額医療受療者（レセプト1件が50万円以上）総医療費順（外来）

表 3-11 高額医療受療者が患っている主傷病：医療費順（外来）（平成28年度） ※KDBデータ

総医療費 順	主傷病名	年間総医療費 (円)	レセプト件数 (件)	受診者数 (人)
1	ウイルス肝炎	1,337,320,040	845	379
2	その他の悪性新生物	1,106,668,800	1,299	491
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物	786,624,550	690	210
4	腎不全	697,187,160	1,209	344
5	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	404,330,890	228	53
6	その他のウイルス疾患	402,994,930	609	195
7	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	340,778,390	271	67
8	乳房の悪性新生物	339,275,450	457	166
9	白血病	305,736,200	325	86
10	その他の心疾患	300,899,640	332	64

▶ 高額医療受療者（レセプト1件が50万円以上）のうち有している基礎疾患の状況

入院の高額医療受療者（19,771人）、外来の高額医療受療者（2,786人）が有している基礎疾患の状況を図 3-17に示します。

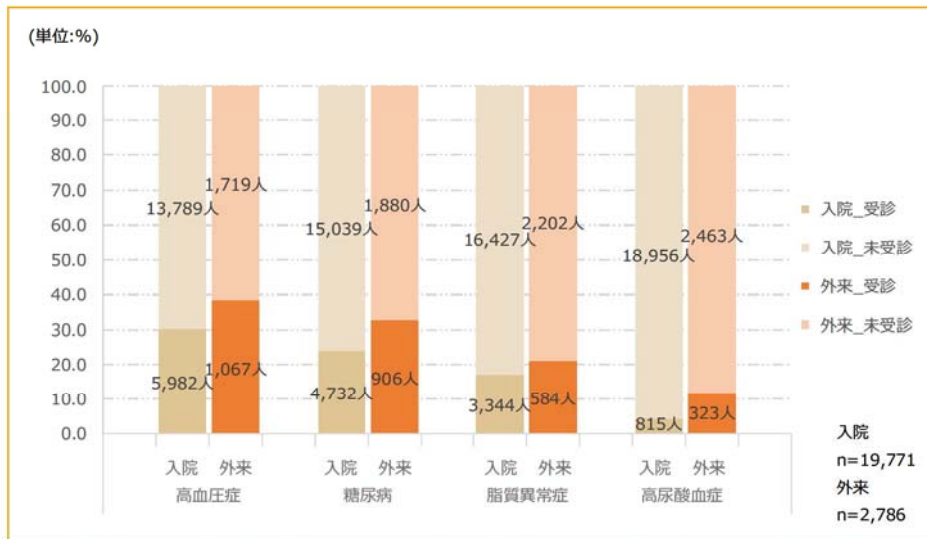


図 3-17 高額医療受療者（レセプト1件が50万円以上）のうち有している基礎疾患の状況（平成28年度）
※KDBデータ

■ 3.3.2 生活習慣病にかかわる医療費の状況

▶ 生活習慣病にかかわる年齢調整後の医療費の状況

本市医療費を愛知県の年齢調整後¹⁰の医療費（以下「標準化医療費¹¹」という。）と比較します。

図 3-18、図 3-19に示すグラフは本市と愛知県の標準化医療費を比較し、本市国民健康保険の医療費が愛知県全体に比べ、いくら余計にかかっているかを示したものです。愛知県を0とし、0を超えると本市の医療費が愛知県の医療費を上回っていることを意味します。

図 3-18に示す入院における標準化医療費では、女性における脳出血が年間約650万円（65万点）、脳梗塞が年間約1,100万円（110万点）、本市の医療費が愛知県に比べ高いことを示しています。

「がん」「精神疾患」「筋・骨疾患」を除く、生活習慣病(※)のうちで「糖尿病」の医療費は男女とも入院・外来いずれも愛知県と比べて高い状況にあります。

(※)生活習慣病の傷病名

図 3-18、図 3-19に示す生活習慣病の傷病名は、第1期データヘルス計画での定義を踏襲し、KDBデータで示す生活習慣病の定義より「がん」「精神疾患」「筋・骨疾患」を除いた傷病を取り扱います。

¹⁰年齢調整後の数値とは、愛知県全体、名古屋市が同じ年齢構成だった場合の数値を算出したものです。高血圧者割合を例として説明します。高齢者ほど高血圧の割合が高いことはよく知られています。高血圧者の割合が多かったとしても、A市の方が高齢者の割合が多ければ、国全体よりもA市の方が（高齢者が多いので）高血圧の割合が多くてあたりまえとも考えられるので、血圧の状態に違いがあるかどうか判断できません。そこで、国全体もA市も年齢構成が同一だった場合に期待される高血圧者割合（年齢調整割合）を計算して比較することが行われます。

¹¹国立科学技術院提供の「疾病別医療費分析（生活習慣病）年齢調整ツール」を使用し、KDBデータで算出した医療費について、愛知県の標準化医療費を算出しました。本市の医療費は元の値のままです。本市と県全体の「標準化医療費の比」（地域差指数ともいいます）を計算することにより、年齢や人口の影響を補正したうえで本市は愛知県に比べていくら余計に医療費がかかっているかを調べることができます。

■ 入院

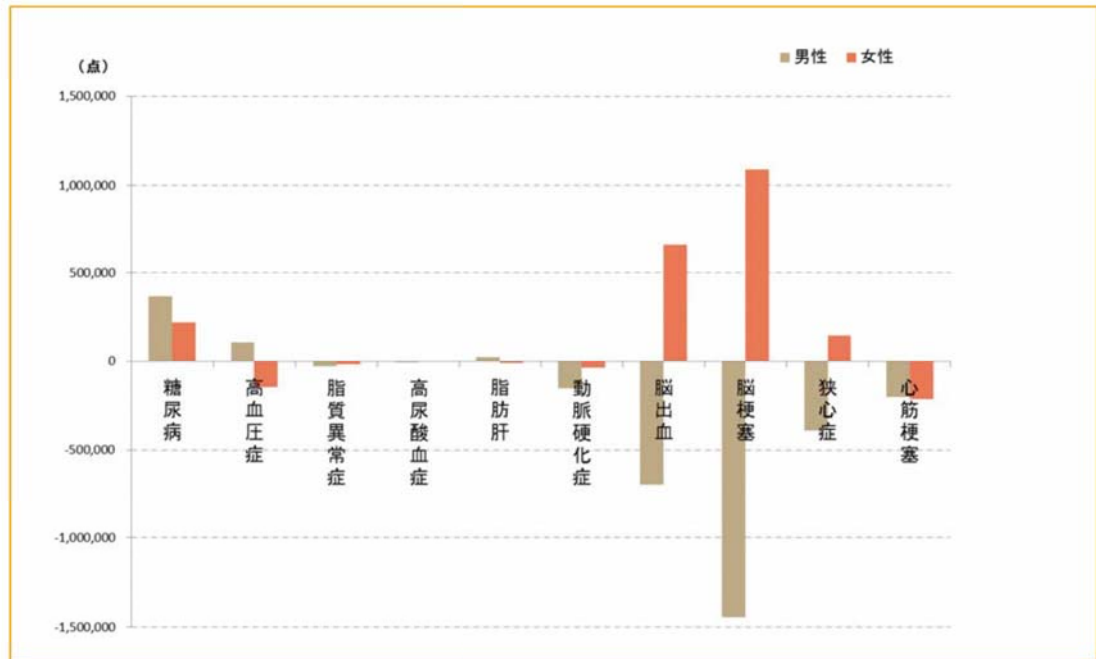


図 3-18 生活習慣病にかかわる標準化医療費（年齢調整後）における愛知県との比較（入院）（平成28年度）
※KDBデータ

■ 外来

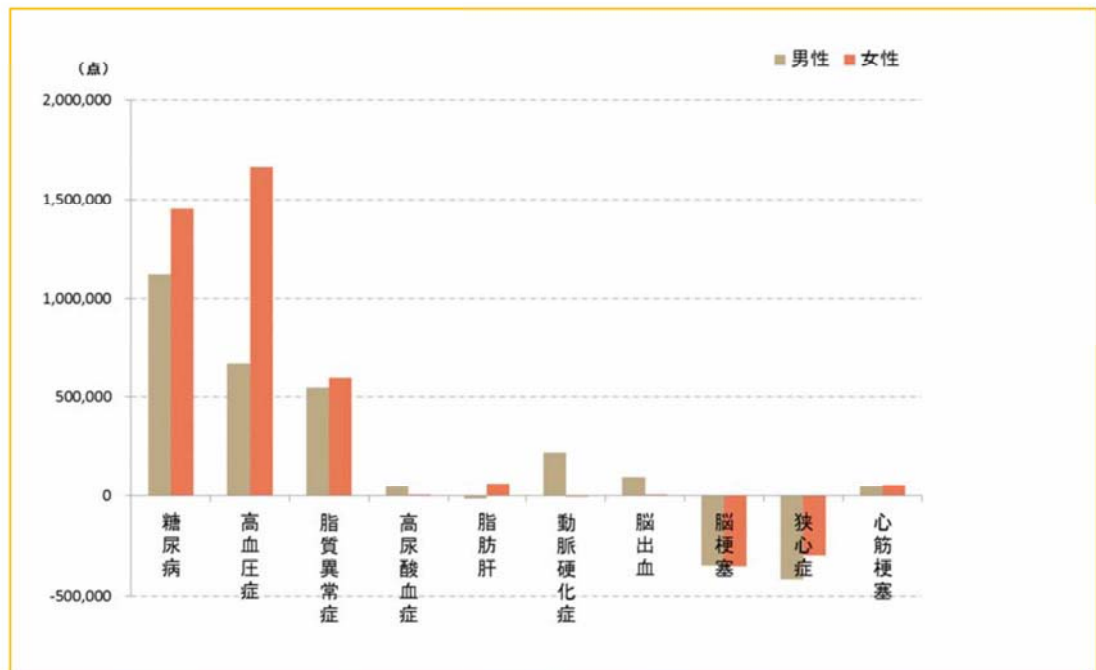


図 3-19 生活習慣病にかかわる標準化医療費（年齢調整後）における愛知県との比較（外来）（平成28年度）
※KDBデータ

▶ 高血圧症の受診者数・受診率

高血圧症の医療機関受診者数・受診率(受診者数／被保険者数)を図 3-20に示します。

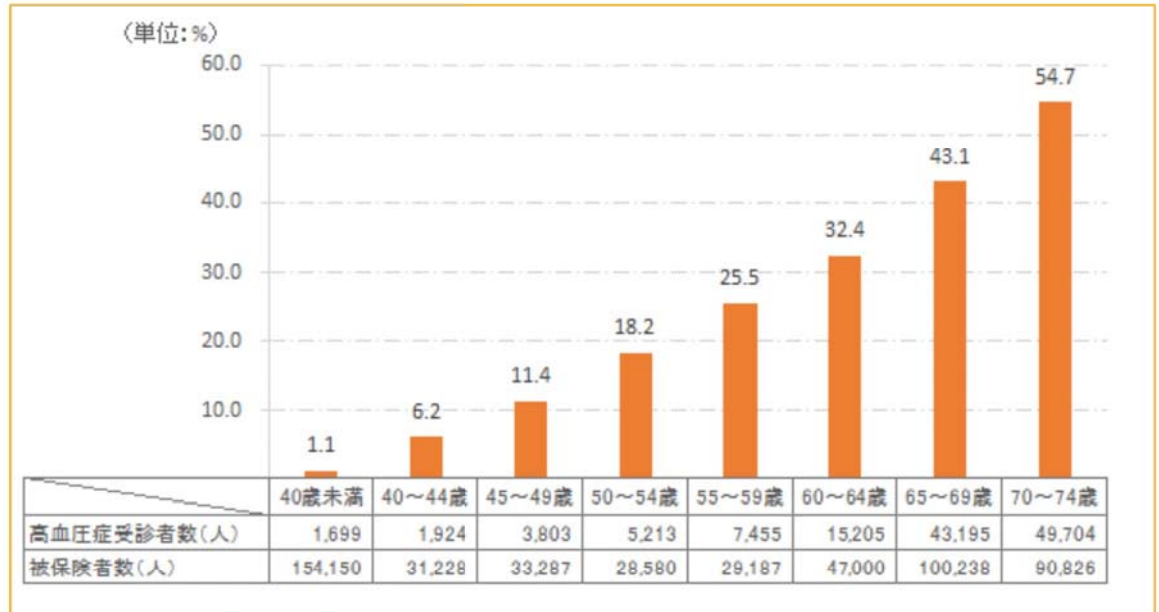


図 3-20 高血圧症受診者数・受診率(平成28年度)※KDBデータ

▶ 糖尿病の受診者数・受診率

糖尿病の医療機関受診者数・受診率(受診者数／被保険者数)を図 3-21に示します。

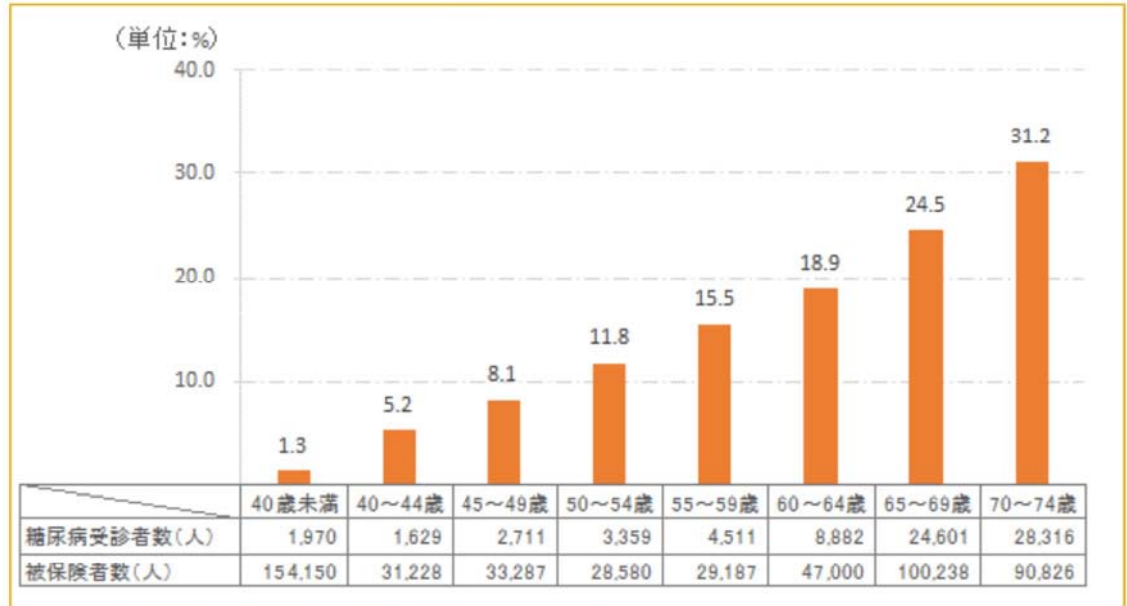


図 3-21 糖尿病受診者数・受診率(平成28年度)※KDBデータ